

険性があると、私は思っているんです。

塩川 うーん、確かに日本人にはそういう性向がありますねえ。

養老 第二次世界大戦の敗戦国である、ドイツ、イタリア、日本の三国が今、戦後六十年という段階になって、子どもの増え方が少ない状況にあるというのは、その根底に、やはり、「何か、自分たちが作っている社会に自信が持てない」ということがあるのではないかと思えます。

塩川 するとなおさら、日本人は武道に励んで自信回復を果たさねばなりませんね。

こんなことで日本は大丈夫か

塩川 先生、今年の秋、フランスで大きな暴動がありましたね。あれには、アフリカや中東諸国からの入国が自由になったことが関係しているわけですが、何で移民がフランスに集中したかというと、フランスは少子対策として、子どもを二人以上産んだ母親に対して手厚い児童手当を出しているからなんです。その児童手当を目当てに、多くはアルジェリアを経由してフランスに人が集まってくるんです。

養老 そうですか、そういう背景があるんですね。

塩川 確かに、移民で入って来た人たちにしてみれば、数の力で対抗していこうということも、一つあるのかもしれませんが。

養老 日本的人口減少問題も、減ったらその分外国の人を入れればいい、と言う人がいますが、それはとても安易な、危うい考え方だということですね。根本的な解決にはなっていませんからね。塩川 日本は、戦後、国民が一丸となって世界トップクラスの経済大国に発展しました。しかし今、「もので栄えて、心で滅ぶ」といいますか、物質的には本当に豊かになりましたが、衣食が足りても礼節を忘れて、たががゆるみきっていますね。

養老 これは、福島県のある課長さんが若い課長補佐を連れて田舎に行った時の話ですが、「課長、これ何ですか」って聞くんですって。「お前、冗談言ってるの？ これは、稲だろ」(笑)。そういう嘘のような話が現実にあるんです。

塩川 私もびっくりしたことがあるんです。国会に来ておった若い官僚がですね、木になっていた青いトマトを見て、「これ、何ですか？」って聞くんですね。「トマトだよ」って言うたら、「えっ、青いトマトなんかあるんですか」って感心しているんです(笑)。つまり、トマトが赤くなるということを知らないんですな。

養老 私は、若い人とつき合っていますから、本当に大変ですよ。

今は、ボタン一つで風呂が沸かせる時代ですが、私たちの子ども頃は、風呂にバケツで水を汲んで、薪まきに火を点つけて、最後に石炭か何かを放り込んで、風呂を焚たくということをみんなやらされましたからね。ところが今の人は、風呂焚たきなんかやったことがないから、何が起きるかということ、これは宮崎駿はやおさんが言っていたことですけども、大勢いる「スタジオ・ジブリ」の若い人たちに、「お

「前たち、バーベキューをやるから火を起こせ」って言うと、地面の上に薪を並べてその上に紙を載せて火を点けているというんですね（笑）。

塩川 そうですか。

養老 その話を聞いていたボーイスカウトの面倒を見ている人が、「そんなの、普通ですよ。今の子は、火なんて起こせるわけがない」って言うんです。ボーイスカウトで、キャンプファイアーをやる時なんかは、その人が薪に火を点けて燃やしてやるんだそうです。燃え出したら、「火が消えないようにお前たち見張っている」と言って、山に水汲みに行つて三十分ぐらいして戻ってきたら、もう、火が消えているんですって。何で消えているのかというと、誰も薪をくべるといふことを思いつかなくなつたというんです。

塩川 薪をくべることも知らないんですか。

養老 はい。普段、電気もガスも一度スイッチを入れておけばいいわけですからね。

塩川 勝手に燃えるもんだと思つている。コックひねつたらお湯が出ると思つているのと同じやな（笑）。

養老 「米を洗つておけよ」と言いつけておくでしょ。で、「おい、洗つたか」って言つたら、「はい、この洗剤でよく洗つておきました」と言う始末です。だから、今は無洗米なんですよ（笑）。

塩川 本当に笑えない話ですな。私はハンドボールの指導をやつていたことがあるんですが、ある時、中学、高校の合宿へ行きましたら、飯を炊く当番の新生が、電気炊飯器に米をいっぱい入れ

て炊いちゃったんですね。そうしたら、ブワーンと噴射してね（笑）。えらいことになった覚えがありますよ。

養老 それは、やっぱり、何もやったことがないということでしょう。

塩川 ええ。人間はやっぱり、実地の経験をさせて、体を使って覚えさせなきゃいかんですね。それには何ととっても「体」、「形」です。体を使って形を覚えさせることですね。

そういう、実地の生きる力を養うのには、やっぱり武道がいいんですね。武道の基本や形にはい
ろんな要素、知恵が集約されていますから。

体を使って学ぶことが大事

養老 そこです。今はもう、日本の子どもたちを放置してられない状況にあるんですよ。

体を使うことが頭を使うことにつながっていることを、もう一度、みんな謙虚に受け止め、実行してもらいたいですね。

塩川 世の大人たち、親御さんも、文部科学省の役人たちも、もう一度、「心身一如」という日本の知恵をですね、体と頭をつなぐことを真剣に考え実行していかなければ、日本は滅びちゃいますよ。

武道は、倫理観の醸成にも、体と頭をつなぐ運動にもなりますから、一石二鳥です。国民運動として、武道を広めていかなければなりませんね。